

# 障害者の生活支援研修～その人らしい人生をどう支援するか～

## (認定社会福祉士認証研修)

本研修では、障害者のライフコース（Life Course：個人の過去・現在・未来）を考え、各ライフステージにおける特性や生活への理解を深めるとともに、その生活を支えるための意思決定支援やアセスメントの理論・手法を学び、関係機関との連携や地域作りも意識しながら、ソーシャルワークの持つミクロ・メゾ・マクロの視点で障害者への支援を行えるようになる支援者の養成を目的に実施します。

実際に障害者支援に携わっている方だけでなく、地域共生社会の実現に向け、他の分野や領域の方にもご参加いただき、家族支援、地域支援に活用いただきたい研修です。

(※ライフコース…誕生から高齢までの人の発達の道筋。歴史的・個人的・社会的な時間の流れの中で人生経験を見ること)

### 1. 日程：2022年12月10日(土)～12月11日(日)

※2日間のプログラムについて、1日目(12/10)のみの参加も可能です。

※プログラムの構成上、2日目(12/11)のみの参加はご遠慮ください。

※認定社会福祉士の研修単位を取得したい方は、2日間のすべてのプログラムの受講が必要です。

### 2. 会場：新潟ユニゾンプラザ 4階 大会議室(新潟市中央区上所2-2-2) 定員40名

### 3. プログラム：

#### 【1日目】2022年12月10日(土)

8:45～	受付開始
8:55～9:00	開会挨拶／オリエンテーション
9:00～10:20	<b>科目1「生活歴の理解」</b> (講義 80分)／講師：石川和美氏 障害者について、生活歴(ライフコース)を理解したうえで、幼児期・学齢期・青年期・高齢期等の生活における特性、各ライフステージにおける生活支援のポイント(着眼点)を学ぶ。
10:20～10:30	休憩(10分)
10:30～12:00	<b>科目2「意思決定支援とは」</b> (講義 90分)／講師：本間奈美 意思決定支援を巡る動向、意思決定支援の概念を理解し、「意思決定」について理解を促す。
12:00～13:00	昼食休憩(60分)
13:00～14:00	<b>科目3「本人の意思を捉える方法」</b> (演習 60分)／講師：本間奈美 事例に基づき、特に障害の重い方の「意思」をどうとらえるか、その視点とポイントへの理解を促す。
14:00～14:10	休憩(10分)
14:10～15:10	<b>科目4「ワーク：生活歴の理解」</b> (演習 60分)／講師：石川和美氏 事前課題で作成した自身の実践事例について、生活歴をとらえる視点、意思決定を支える視点から改めて確認し、支援者としての関わりについて気づきを促す。
15:10～15:20	休憩(10分)
15:20～16:50	<b>科目5「課題解決の手法」</b> (講義 90分)／講師：江部健幸氏 本人本位、本人の意思決定をふまえた生活支援のためのケア計画策定の要となるアセスメントについて、その意義や視点、方法などを学ぶとともに、「課題」と「ニーズ」をどのように捉えるかを理解する。
16:50	終了

#### 【2日目】2022年12月11日(日)

8:45～	受付開始
9:00～11:30	<b>科目6「課題解決に向けたケア計画の策定I」</b> (演習 150分) ／演習進行：(公社)新潟県社会福祉士会 障害者支援班運営委員、コメント：江部健幸氏 ・事例を通じて、障害者の生活歴と現在の生活、本人を取り巻く人的環境や社会資源の状況などの必要な情報整理・アセスメントの視点を確認する。 ・把握・分析した情報を正しく理解し、どのようなケア計画につなげるか、プランニングの視点を学ぶ。
11:30～12:30	昼食休憩(60分)

12:30～14:00	<b>科目7「組織間ネットワークとチームアプローチ、地域との関わり、多様なサービスの活用」</b> （講義 90分） ／講師：江部健幸氏 障害者の生活支援にあたり、ミクロからメゾ、マクロへと視点を展開させ、地域課題への取り組みにつなげる視点を学ぶ。
14:00～14:15	休憩（15分）
14:15～16:45	<b>科目8「課題解決に向けたケア計画の策定Ⅱ」</b> （演習 150分） ／演習進行：（公社）新潟県社会福祉士会 障害者支援班運営委員、コメント：江部健幸氏 ・個人の障害者への支援から、マクロの視点を広げ、地域づくりにどうつなげていくかという視点をもってケア計画の策定ができるようになる。 ・障害者の支援に対し、多角的なとらえ方をする重要性を理解し、支援の視点の幅を広げる。
16:45	閉会

#### 4. 講師紹介

科目1、科目4担当  いしかわ かずよし <b>石川 和美 氏</b>	<p>昭和63年4月に福祉行政職として新潟県入庁。新潟県あけぼの園（現障害者支援施設）で生活指導員として勤務。その後、三古社会福祉事務所において社会福祉主事、新潟学園、新潟県身体障害者更生指導所、コロニーにいがた白岩の里において指導員、児童相談所において児童福祉司として勤務。</p> <p>平成26年4月から南魚沼児童相談所相談課長、平成30年4月から上越児童相談所相談判定課長を経て、令和3年4月からコロニーにいがた白岩の里重複更生部長（現職）。</p> <p>入庁以来35年間、新潟県における福祉の専門職として主に障害福祉分野で12年、児童福祉分野で21年の勤務を経験。福祉施設における直接支援業務と児童相談所等における相談支援業務を長く経験し、支援が必要な障害者や児童、その家族に寄り添い、常に一番近くで支えてきた。また、これからの県の福祉行政を担う若手職員の人材育成にも力を注いでいる。</p>
科目2、科目3担当  ほんま なみ <b>本間 奈美</b> （当会理事）	<p>横浜生まれの横浜育ち。嫁ぎ先の佐渡で出逢った「福祉」という世界に飛び込んでみる。佐渡市社会福祉協議会日常生活自立支援事業専門員、法テラス佐渡法律事務所、相談支援事業所こもれびを経て、2018年4月一般社団法人SADO Actを設立、相談支援センターそらうみを開設。2021年4月権利擁護サポートセンター開設、法人後見を開始。</p> <p>現在の興味は、障害者アートや権利擁護・意思決定支援などなど。</p> <p>認定社会福祉士（障害分野）、精神保健福祉士、主任相談支援専門員、成年後見人（公社）新潟県社会福祉士会理事、（一社）日本意思決定支援ネットワーク理事 H29・30 厚労省科学研究「障害者の意思決定支援に関する研究」班会議メンバー</p>
科目5～8担当  え べ たけゆき <b>江部 健幸 氏</b>	<p>平成10年地元へのUターンの際に知的障害者入所更生施設の生活指導員として採用。8年半勤務したのち、法人内の異動で相談支援専門員として勤務。途中、平成28年に法人を移籍したり、地域包括支援センターの管理者を兼務しつつ相談支援専門員として現場に向き合い続ける。現在みんなでいきる相談センター管理者として5つの事業を管理、（一社）新潟県相談支援専門員協会代表理事（2期目）。</p> <p>趣味は5人の子どもの習いごとサポートやバレーボール。最近、著しい体力の劣えを痛感している丑年生まれの49才。</p>

#### 5. 受講対象者（申込区分別）と、申込区分別の修了要件

	【区分1／認定参加】 認定社会福祉士の研修単位を取得したい方	【区分2／一般参加】 左記以外の方
受講条件	下記①及び②の両方を満たす方 ①社会福祉士有資格者 ②障害福祉分野での自身の実践事例を提出できる	特になし。 地域において障害者支援に携わる方、ほか、本研修の内容に関心のある方など。

<b>修了要件</b>	<p><b>以下のすべてを満たすことで修了となります。</b></p> <p>①すべてのプログラムに出席し、かつ、事前課題を提出すること。</p> <p>②事後課題を提出すること。</p> <p>③各講義・演習において 15 分以上の遅刻・早退・途中退席がないこと（※15 分以上の遅刻・早退・途中退席があった場合は、原則、研修は未修了となります）</p>	<p>・2 日間のプログラムについて、<u>1 日目のみの参加が可能</u>です（プログラムの構成上、2 日目のみの参加はご遠慮ください）。</p> <p>・2 日間すべての申し込みも可能です。</p> <p>・いずれの場合にも、<u>事前課題をご提出いただきます</u>（1 日目の演習で使用するため）。</p> <p>※障害者支援以外の分野の方は、自身の実践分野での対象者の支援事例を事前課題としてご提出ください。</p> <p>※事後課題の提出は不要です。</p>
<b>事前課題</b>	あり（「6.事前課題と事後課題」参照）	あり（「6.事前課題と事後課題」参照）
<b>事後課題（修了レポート）</b>	あり（「6.事前課題と事後課題」参照）	なし
<b>修了後の単位付与</b>	<p><b>認定社会福祉士の研修単位として以下の単位を取得できます。</b></p> <p>研修認証番号：20180001</p> <p>研修単位：1 単位</p> <p>科目名：対象者別科目</p> <p>科目の区分：分野専門（障害分野）</p> <p>科目の群：対象者別科目群</p>	なし。
<b>受講料</b>	<p>都道府県社会福祉士会会員 } <b>5,000 円</b></p> <p>新潟県相談支援専門員協会会員 }</p> <p>上記以外の方 <b>15,000 円</b></p>	<p><b>1 日目のみ参加の場合</b></p> <p>新潟県社会福祉士会会員 } <b>2,000 円</b></p> <p>新潟県相談支援専門員協会会員 }</p> <p>上記以外の方 <b>7,000 円</b></p> <p><b>2 日間参加の場合</b></p> <p>新潟県社会福祉士会会員 } <b>5,000 円</b></p> <p>新潟県相談支援専門員協会 }</p> <p>上記以外の方 <b>15,000 円</b></p>

## 6. 事前課題と事後課題

**【事前課題】 ※科目 4～8 で使用します。**

自身が支援をしている事例について、その人の生活上の課題と、現在どのような支援をしているか、社会資源活用の現状を整理する（所定の様式を使用）。

※事前課題の提出締切は、2022 年 11 月 30 日（必着）

※事前課題の様式は、新潟県社会福祉士会ホームページからダウンロードいただくか、新潟県社会福祉士会事務局へ Eメールでご請求ください（メールアドレスは「10.問合せ先」参照）。

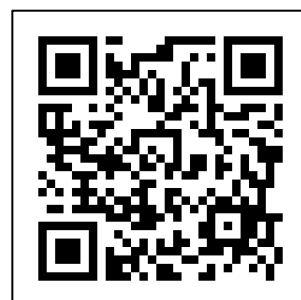
**【事後課題（修了レポート）】※認定社会福祉士研修単位対象者のみ**

上記【区分 1】の方のみ、事後課題（修了レポート）があります。課題の内容は後日ご説明します。

## 7. 申込方法及び受講決定【申込期限：2022 年 11 月 7 日】

①申込専用フォーム（下記 URL または QR コード／Google フォームを使用）より、11/7（金）までにお申し込みください。

<https://forms.gle/2DYGkbvLDRo9xkLZA>



※お使いのデバイスやインターネットのセキュリティ環境等により、上記フォームにアクセスできない

という場合は、別途「申込書」にてお申込みください。申込書の様式は以下の URL（新潟県社会福祉士会ホームページ）からダウンロードしてください。

②申込期限以降、11月15日頃までに受講者ご本人にメールにて受講についてご連絡いたします。受講費の納入方法等についてはその際にお知らせします。

※受講申込者が少ない場合、開講しない場合がありますので予めご了承ください。

※定員を超えた場合は、新潟県社会福祉士会会員の方を優先させていただきます。

③事前課題は、事前課題提出締切日（11/30）までに新潟県社会福祉士会へご提出ください（メールまたは郵送）。

事前課題の様式は以下の URL（新潟県社会福祉士会ホームページ）からダウンロードしてください。

**8. 主 催：公益社団法人新潟県社会福祉士会**

**9. 共 催：一般社団法人新潟県相談支援専門員協会**

**10. 研修単位**

本研修は、認定社会福祉士認証・認定機構により認証された研修です。

研修認証番号：20180001／研修単位：1 単位／科目名：対象者別科目／

科目の区分：分野専門（障害分野）／科目の群：対象者別科目群

**11. 問合せ先：公益社団法人新潟県社会福祉士会事務局（担当：畠山）**

〒950-0994 新潟市中央区上所2-2-2 新潟ユニゾンプラザ3階

TEL：025-281-5502／FAX：025-281-5504／メール：[njacsw@poplar.ocn.ne.jp](mailto:njacsw@poplar.ocn.ne.jp)

---